



校長室の窓

令和7年5月28日

学校だより第2号より

～子供たちを真ん中にした運動会～

5月17日（土）はあいにくの雨予報でしたが、「子供たちが広い校庭で力いっぱい活動する姿を保護者・地域の皆様方にご覧いただきたい！」と考え、PTA会長様にも相談の上、開会から雨が落ちてくる予想時刻まで、子供たちの演技を集中させて校庭で実施しました。

荒天にも関わらず地域の皆様には続々にご来校いただき、子供たちの演技に盛大かつ暖かいご声援をいただきました。子供たちの視線の先には、あふれんばかりに集まっていたいただいた地域の皆様の姿がありました。それはまるで、試合中のＪリーガーを鼓舞するサポーターのように、子供たちにとってどんなに心強く頼もしく感じたことでしょう。

徒競走やリレーでは、出走前から「〇〇！がんばれー！！」「〇〇！負けるなよー！！」とたくさんの励ましをいただき、子供たちは大歓声を浴びながらトラックを走り抜けました。スターター（ピストル）役だった体育主任は「なんと温かい声援、温かい地域なのだろう。このような地域の学校にいられる自分たちは幸せだ。」と指導中に思わず涙ぐんでしまったとのことでした。

途中から降雨のため体育館に移動しましたが、予定どおり全ての演技を実施することができました。応援をいただいただけでなく、多くの皆様に子供たちと同じように綱引きや玉入れ、ダンスや踊りに参加していただきました。職員と保護者と地域の皆様が連携し、子供たちを真ん中に置いて、共に活動していただけたことに幸せを感じました。

月立小の教育スローガンは「子供たちを真ん中に置いた教育活動の推進」です。私は、子供時代に地域のたくさんの大人が関わって育つことで、子供たちが将来も主体的に人とつながる力を身に付けるとともに、地域愛を育ていけると考えています。その本校の教育活動の土台となっているのが月立地区の皆様です。

今年度も素晴らしい運動会を開かせていただいたことに、改めて感謝申し上げます。これからも子供たちの応援団として、保護者および月立地区の皆様からのご支援とご協力をよろしくお願いいたします。